



# にっしょう 日商だより

☆第1号☆  
平成24年12月

■■■この「日商だより」は、私たちと何かのご縁があった方々に、差し上げている通信誌です。■■■

## ◆ごあいさつ◆

こんにちは。いつも大変お世話になっております。日商器材代表取締役の後藤武です。大変有難いことに、これまでお客様が増えてまいりました。ただその一方で、なかなかお会いできないお客様も同時に増えて来てしまいました。

そんな中でも、私たち日商器材のことを身近に感じて頂ければと思い、今月より、私たちとなんらかのご縁のあった方々に、この「日商だより」を発行させて頂くことになりました。



この「日商だより」は、私後藤が日々考えていることや日々の気づき、日商器材スタッフや、会社の取り組みなどについてご紹介させて頂くものです。お時間のあるときにでもご覧になって頂ければ幸いです。何卒、よろしくお願い申し上げます。 後藤武

## ◆「ヨットでも作ろうか」◆

さて、日商だよりの記念すべき第1号は、昭和43年の11月に私後藤武がこの日商器材を設立するちょっと前のエピソードをご紹介させて頂きたいと思います。

私は、昭和17年三重県桑名市の出身です。四日市工業高校の機械科を出てから名古屋市南区の材木関係の会社に入りました。合板、いわゆるベニヤ関係の500人くらいの会社に入らして、その会社の工場の設備のところで働いていました。

そして、その会社で4~5年が経った頃だったと思いますが、その会社に新しい食堂が建ち、古い食堂が空きになりました。そして、当時、たしか名古屋大学OBを含めた「チタⅡ世号」がロサンゼルス-ホノルル間で争われる国際ヨットレースに参加してそれが話題になっていた頃でした。私は、行動を共にしていた相棒(北大・ラグビー一部出身の稲葉さん)と「ヨットでも作ろうか」という話をするようになり、そして、若い仲間が5~6人集まって本当にヨットを作るようになったのです。ちなみに、ヨット経験者はひとりもいませんでした。

まず、設計図は横浜まで買いに行きました。5mほどのヨットの設計図です。そして、帆布も買いましたが、ヨットの基本材料となる板は会社が材木会社だったこともあって、上の人から「必要なものは使っていよいよ」と無償でもらうことができました。(今ではちょっと考えられません。)

そして、実際にヨットを作る場所となったのが、新しい食堂によって空きスペースとなっていた古い食堂でした。そのスペースも何と無償で貸してくれたのです。(本当におおらかな時代です。)

私たちは、仕事が終わった後にヨットづくりを進めていき、10カ月ほどかけてやっと完成しました。そして、完成したヨットを実際にトラックを借りて今の中部国際空港のあるところの、鬼崎漁港という小さな漁港に係留しました。



そして、春先から秋くらいまでは休みの日や、日が長い時期の仕事が終わった後に車でそこまで行って、実際にヨットに乗りました。鬼崎漁港から真南に下りますと、三重県の鳥羽港にたどり着きます。小さなエンジンも (→裏面へ)

(続き→) ついてはいましたが、基本的には風まかせで自分たちで7~8時間かけて鳥羽港まで向かいました。ちなみに、ヨット経験者は本当にひとりもいませんでした。

私がそのとき学んだことは、“できないことは何もない”と言いますか、何事も“やればできるんだ”ということです(笑)。そして、そのことはもちろんその後の人生にも生きています。

ちなみに、私はその後、その材木会社に3年(計7年)勤めたのち、すぐに独立して日商器材を設立したのではなく、実はヨットをいっしょに作った相棒と2人でアメリカとカナダに渡り、それこそ、風まかせのような旅をしていました。(いまでは考えられないようなことをしていました。)そのお話は、また次回の日商だよりに書かせて頂きます。どうも有難うございました。



### ◆日商器材の、ゆかいな仲間たち◆

#### 永谷 佳久(ながや よしひさ)

はじめまして、永谷です。34歳、結婚して子供が3人います。一番下の子供は最近生まれたばかりで現在7ヶ月、つかまり立ちをし始めてあぶなっかしく目が離せません。ちなみに、会社での自分の仕事は、主にサービスです。コピー機を直したりPCの故障箇所を突き止めたりしています。PC(クライアント、サーバー)と複合機、プリンターのネットワーク連携による業務の効率化などが得意です。



#### 増田 悦子(ますだ えつこ)

店頭部の増田です。私は、店頭で直接お客様と顔を合わせる事が多く、商品名や品番がわからない方が来られた時は特にじっくりとお話を聞いて、カタログや在庫の中から商品を提案させて頂いています。電話やFAXで注文や問い合わせを頂く場合も出来るだけ



情報をお聞きし、間違いなくお届けできる様、心掛けております。新商品やおもしろい商品もお店にありますので、是非、一度足を運んでみて下さい。

### ◆発行者コラム◆

最後までお読み頂きまして、本当にどうも有難うございました。日商だより第1号はいかがでしたでしょうか。これから月に1回ずつ発行させて頂きたいと思っておりますので、今後とも、何卒、よろしくお願い申し上げます。本当にどうも有難うございました。 後藤武

■本通信誌をご希望されない方は、大変お手数ですがお名前を書いてそのままFAXして下さいますようお願い致します■

#### 【発行者プロフィール】

日商器材株式会社 代表取締役 後藤 武 (ごとう たけし)

◆生年月日:昭和17年8月10日生まれ

◆出身地:三重県桑名市

◆趣味:仕事が趣味です。あとは本を読むこと。若い時はヨット・スキー。

ちなみに、ゴルフは下手なのでやっておりません・・・。



後藤 武

#### 【発行元】

OA機器・複写 情報サービス・測量機 **NSK** 日商器材株式会社

〒511-0068 三重県桑名市中央町2-26

**TEL:0594-21-2600** FAX:0594-21-2685

※お気軽にお問い合わせください!